

令和3年度 1学期末PTA
チーム星峯西小で取り組む

PTA活動

～今、求められる家庭教育～

家庭の教育力向上プログラムの構築

令和3年6月30日(水)・7月1日(木)・2日(金)

鹿児島市立星峯西小学校

校長 谷口源太郎

PTA活動の 基本的な考え方

【家庭の教育力向上
プログラムが必要な理由】

※子どもたちに教育課程(=育成プログラム)があるように教職員や保護者など大人にも教育力・指導力を高めるためのプログラムが必要。

子どもは「親の言うとおりに」にはならず、 「親がするとおりに」になる！

(市就学時健診資料より)



動物の子どももヒトの子どもも親がする姿を見ながらまねて成長していく。養育する者の姿勢が親から子へ、子から孫へと伝わっていく。※子育ては、連鎖する。

家庭環境と子どもの学力(全国学力・学習状況調査分析結果)

※以下の場合に、子どもの学力は高い傾向にある。

〈保護者の働きかけ〉

- ① 学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域や社会の出来事やニュース等、会話が多い。
- ② テレビ、ビデオ、DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。
- ③ 子どもに努力することの大切さを伝えている。
- ④ 子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。

〈保護者の教育意識や諸活動への参加〉

- ① 将来、子どもに留学してほしいと思っている。
- ② 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- ③ 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。
- ④ 保護者自身がPTA活動や保護者会等へ積極的に参加している。

子どもたちのために学校、家庭、地域が連携・協働すべき理由とは

9h (8:00~17:00)

学校

生きる力: 確かな学力
豊かな人間性、健康・
体力・安全、GIGAスク
ール、働き方改革 等

低学力、いじめ、不登
校、問題行動、ゲーム
依存、虐待、自死 等

連携

連携

協働

協働



少子高齢化、過
疎化、地域担い
手不足、伝統文
化継承、防災等

共働き世帯増加
育児・子育ての
悩み、進学、就職
児童虐待等

家庭

地域

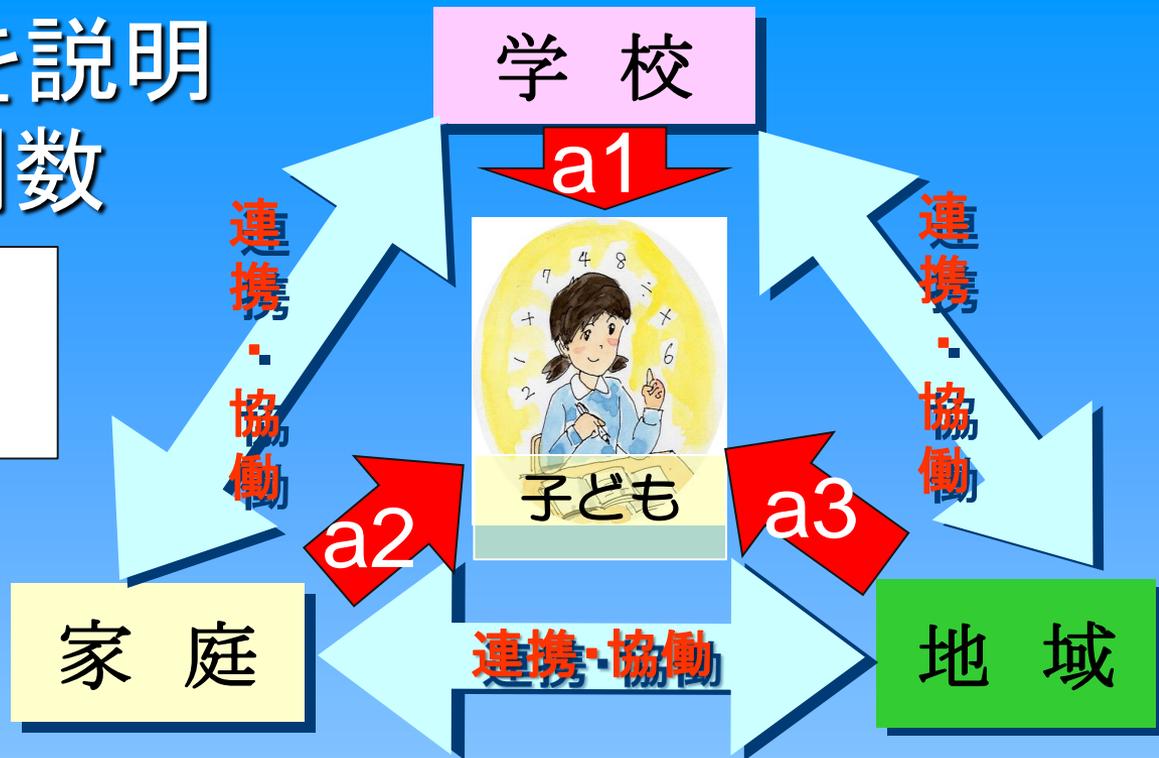
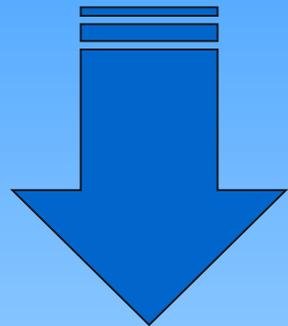
連携・協働

13h (19:00~8:00)

2h (17:00~19:00)

教育活動の成果を説明 するための一次関数

$$y = at + b$$



y: 今年度の教育活動の成果

a: (a1学校 + a2家庭 + a3地域) の教育力

t: (t1学校 + t2家庭 + t3地域) での時間

b: 前年度までの教育活動の成果

質
×
量

家庭の教育力向上プログラム をどのように作るか？

～PDCAサイクルに基づく実践事例～

家庭との連携

①PTA活動共通実践事項

- ・ ノーメディアタイム
- ・ 早寝早起き朝ご飯 等

学校，家庭，地域が連携し，「生きる力」を育むPTA活動
～星峯西小学校PTA共通実践事項の取組～

知育

確かな学力

自分で課題を見付け、自ら
学び、主体的に判断し、行動
し、よりよく問題を解決する
資質や能力

「生きる力」

豊かな人間性

自らを律しつつ、他人とと
もに協調し、他人を思い
やる心や感動する心など

健康・体力

たくましく生きるた
めの健康や体力

ノーメディアタイム

早寝・早起き
朝ご飯

読書活動

あいさつ運動
家族・近所

徳育

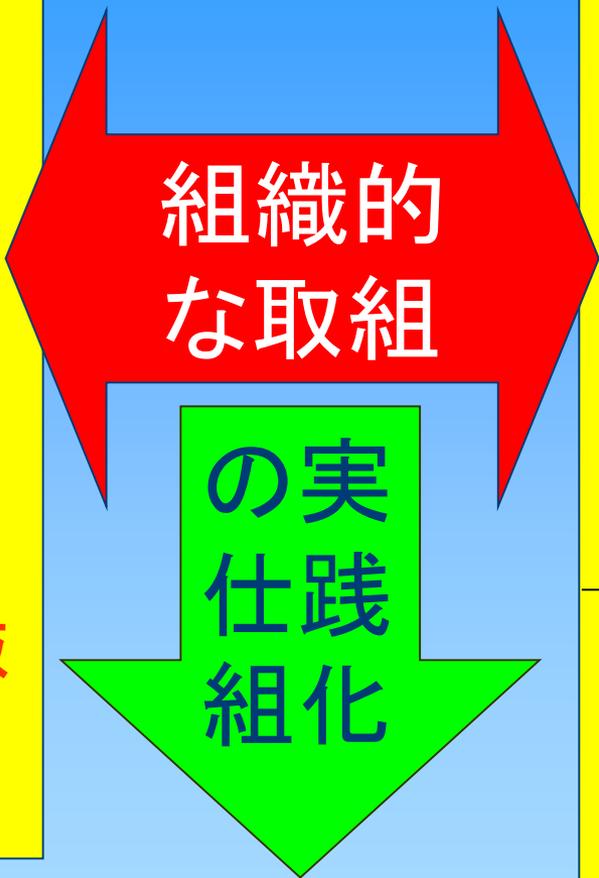
体育

一家庭一家訓

PTA組織と連動した共通実践事項の取組イメージ

【PTA共通実践事項】

- ①あいさつ運動
- ②一家庭一家訓
- ③ノーメディアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起き朝ご飯



【PTA組織】

- PTA専門部活動
- 総務部
- 生活指導部
- 保健体育部
- 環境整備部
- 研修部
- 学級PTA活動
- 学級PTA

- ※家庭教育学級
- ※子ども会育成会
- ※スポ少育成会

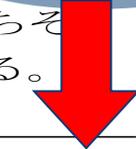
「生きる力」(知・徳・体)の育成

学級PTA活動の取組状況の把握・分析とFB

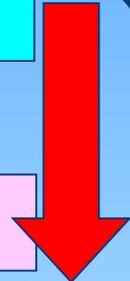
第1回学級PTA:各学級ごとにPTA共通実践事項の努力点の設定

| 学 年 | 努力点: ①ノーメディア②一家庭一家訓③あいさつ運動④読書活動⑤食育 |
|-----|---|
| 1年生 | ① テレビを消す時間をつくり、手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます, 行ってきます, いただきます, ごちそうさまなどのあいさつを元気よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み(音読)を聞く。 |

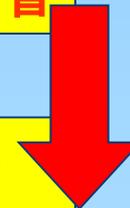
Plan



Do



Check



Action

○学期の取組

取組状況の把握: アンケート調査実施

取組状況の集約: アンケート集計

取組状況の分析: アンケート結果分析

PTA研修部の関わり

○月の学級PTA:各学級ごとにPTA共通実践事項の話合いによる反省

PTA新聞「○○○○」の発行: PTA共通実践事項のアンケート調査の分析結果, 子ども、保護者、教師の声等を掲載して全家庭に配付する。※ FB:フィードバック

家庭の教育力アップ共通実践事項設定の仕方(例)

我が家のPTA共通実践事項

年

児童氏名

①進んであいさつ(学校・家庭・地域)をしよう。

②一家庭一家訓(手伝い等)

③ノーマデイアタイム
(〇時〜〇時・〇時間)

④読書活動(うち読二〇分)

⑤早寝・早起き・朝ご飯

早寝

時・早起き

時



※学年に応じて遅くとも午後10時までには就寝
※午前6時から7時までの時間帯で起床時間を設定する。

※曜日を限定せず毎日、継続して取り組めるように、時間帯(19:00~20:30)や時間(1時間30分)などで設定するようにする。

※家庭でのお手伝いを中心にルールやきまりなどを設定する。できるだけ肯定的な文で設定する。
(例)「お風呂そうじを毎日する。」

家庭の教育力アップ共通実践事項

学校提出用

年 組

児童氏名

①進んであいさつ（学校・家庭・地域）をしよう。

②一家庭一家訓（手伝い等）

③ノーメデイアタイム（〇時～〇時・〇時間）



④読書活動（うち読二〇分）

⑤早寝・早起き・朝ご飯

早寝

時・早起き

時

家庭の教育力アップ共通実践事項

家庭掲示用

年

組

児童氏名

①進んであいさつ（学校・家庭・地域）をしよう。

②一家庭一家訓（手伝い等）

③ノーメデイアタイム
（〇時～〇時・〇時間）



④読書活動（うち読二〇分）

⑤早寝・早起き・朝ご飯

早寝

時・早起き

時

家庭掲示用：PTA共通実践事項設定の仕方（例）

〇〇学校PTA共通実践事項

- ① あいさつ（学校・家庭・地域）
- ② 一家庭一家訓（手伝い等）

- ③ ノーメディアタイム（〇時～〇時）

- ④ 読書活動（うち読書二十分）

- ⑤ 早寝・早起き・朝ご飯

（早寝 時・早起き 時）



実効性があり、
継続した取組に
するために、

この用紙をテレビの横など、よく見えるところに掲示して、時間になったら保護者が子どもに声かけができる環境をつくる。

【ノーメディアタイムの具体的な取組】



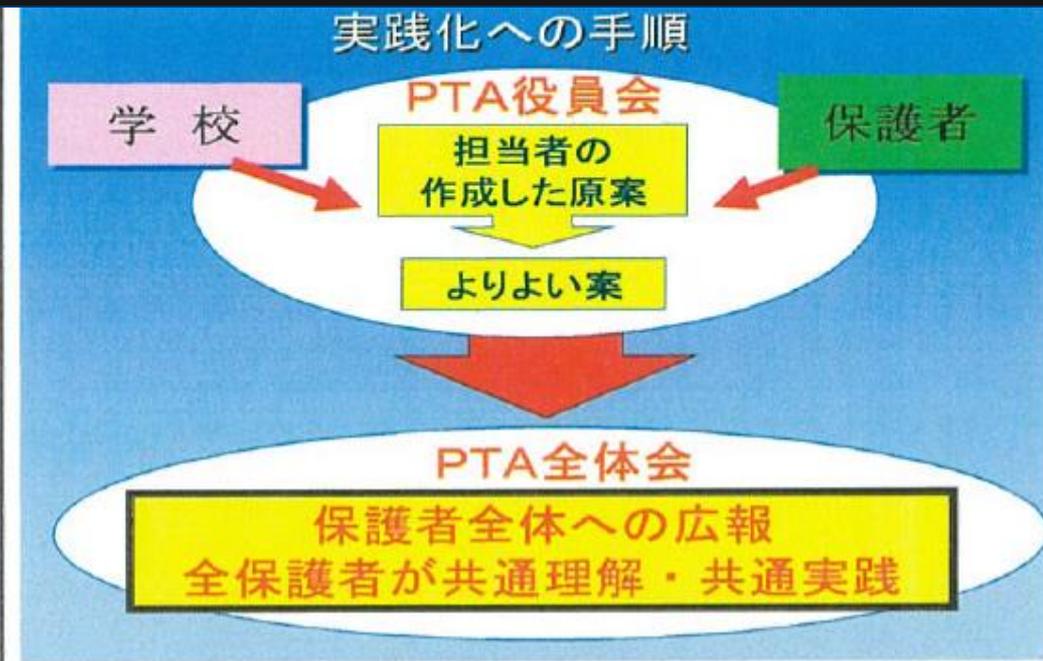
テレビを消して学習に取り組む
子どもの様子



学習する子どもを励ましたり
教えたりする保護者の様子

ノーメディアタイムとは何か？その取組を**視覚化(見える化)**して保護者に示し、協力を呼びかける。→実施状況をアンケートで把握

PTA役員会→PTA全体会→学級PTA 全保護者に周知し共通理解を図る仕組



校長が、学期始め・終わりのPTA全体会で学校の取組状況、PTA共通実践事項の取組状況をデータに基づき説明し、協力を求め、更なる充実を図っていく。

- ※すべて校舎内で行えるよう変更
- ※授業参観(各教室)→PTA全体会(音楽室)→学級PTA(各教室)
- ※多くの保護者に参加してもらう。



協力をお願いをするPTA会長



学校の取組を説明する校長



全学級のPTA活動年間努力点の設定とその取組

| 学 年 | 努力点：①ノーメディア②一家庭一家訓③あいさつ運動④読書活動⑤食育 |
|-----|--|
| 1年生 | ① テレビを消す時間をつくり，手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます，行ってきます，いただきます，ごちそうさまなどのあいさつを元気よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み（音読）を聞く。 |

取 組



全学級のPTA努力点に共通実践事項を位置づけて1年間取り組む。
授業参観で多くの保護者の参加を促し，校長、PTA会長による**PTA全体会を開催して取組状況を説明、協力を呼びかける。**
その後**に学級PTAを開き，PTA共通実践事項の取組についてグループでの話し合い活動を設定する。**各家庭での様子を一人ずつ話すことで情報交換が図れるようにするとともに，保護者の意識を高めるようにする。

情報交換を深める少人数の話合い活動

先生、こんな時は
どうすればよい
ですか？

なるほど！
今度うちで
もやってみ
よう！

うちではこんな
ふうに取り組ん
だらうまくいま
したよ。



学期中に取り組んだ成果や課題を学級PTAで話し合う。5, 6人の小グループによる話し合い活動を設定することで、保護者が各家庭での様子を一人ずつ出し合い、中身のある情報交換をする。**(ワークショップ型, 参加型の協議)**

→保護者も**「主体的・対話的で深い学び」**で課題を共有する。

PTA研修部員と担当教員によるPTA新聞編集会議



PTA研修部長、同部員保護者、担当教員によるPTA新聞編集会議の様子。PTA共通実践事項アンケート集計も行う。この活動そのものが家庭教育である。

「仕事をしているので最初はめんどくさいと思ったが、よい勉強になった。参加して良かった。」【保護者の感想】

PTA新聞を活用した取組状況のフィードバック

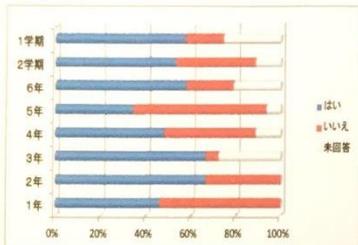
学校PTA研修部だより (No. 2)

平成 29 年 12 月 21 日 (木)

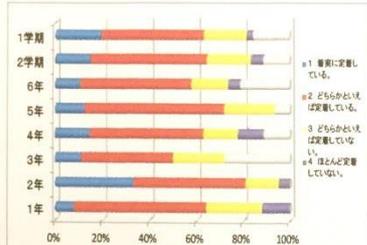
小学校PTA研修部だより (No. 2)

平成 29 年 12 月 21 日 (木)

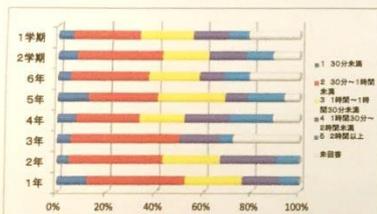
PTA共通実践事項の用紙の掲示



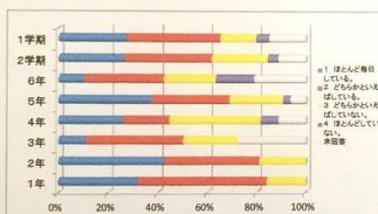
ノーメディアタイムの取組結果



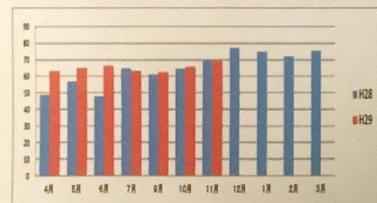
家庭でのテレビ視聴時間の状況



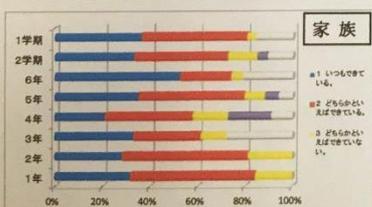
家庭での読書活動の取組結果



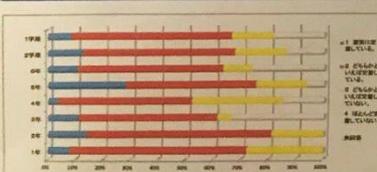
家庭での学習時間の状況



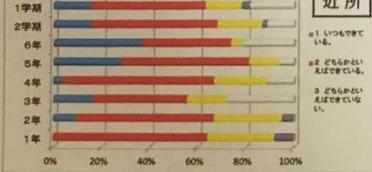
あいさつ運動の取組結果



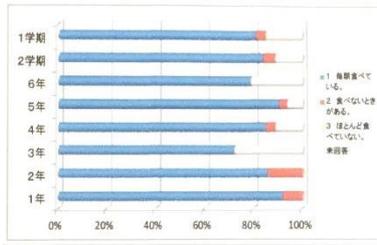
一家庭一家訓の定着



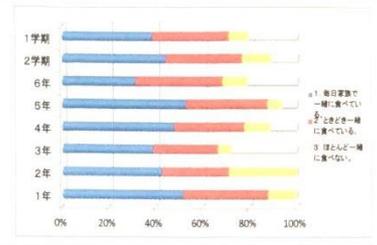
近所



家庭での朝食摂取状況



家族一緒の食事状況



【考察】PTA共通実践事項について家族での確認の話し合い及び掲示は5.0%とやや減少。家族、近所の方へのあいさつは7.0%近くができているが、28年度より減少傾向にある。一家庭一家訓は7.0%弱の家庭で定着しているが、28年度より減少している。ノーメディアタイムの取組が6.5%の家庭で定着しつつある。テレビ等の視聴時間90分未満の家庭も6.5%である。

家庭学習時間はこの2年8か月で増減しながら向上している。家庭での読書が定着している家庭が6.0%である。毎日欠かさず朝食を食べるが8.5%でこの3年間で5%減少。毎日家族一緒に食事をとるが今年度になって3.40%台になっており、家族だんらん、親子の語り合いが減少傾向にある。

《各学級2学期の反省結果》 H29.12.6実施 (4段階評価)

| 評価項目 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全体 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① あいさつ運動 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3.3 |
| ② 一家庭一家訓 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3.2 |
| ③ ノーメディアタイム | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3.7 |
| ④ 読書活動 | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 | 4 | 3.5 |
| ⑤ 早寝・早起き・朝ごはん | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4.0 |
| 学級ふれあい活動 | — | 4 | 4 | — | 4 | — | 4.0 |
| 各学級の平均値 | 3.6 | 3.7 | 3.5 | 3.2 | 3.8 | 3.6 | 3.6 |

【考察】

主な意見としては下記のとおりである。

- ① あいさつは、少しずつよくなってきている。引き続き親が声かけをしていく。
- ② 一家庭一家訓は、わりとよくなってきている。話し合いをもって改善していく。
- ③ ノーメディアタイムは、まあまあできている。休日も声かけをしていく。
- ④ 読書活動は、本を借りる数が増えた。借りて満足している子もいる。
- ⑤ 早寝・早起き・朝ごはんは、よくできている。

全体として、家庭で親子で取り組んでいることで、少しずつよくなってきているという評価である。しかし、個人差も大きく、今後も共通実践事項の継続により、子どもたちに基本的な生活リズムの確立や生活習慣をしっかりと身に付けさせていきたい。



小学校PTA研修部

学級委員長さんのコメントで、各家庭での取組に対する工夫等が分かり、参考となる点や反省し次に活かそうとする視点がとても勉強になりました。

3学期も保護者の皆さんの御協力をいただきながら、PTA新聞がより良くなるように頑張りますので、よろしくお願ひします。

PTA 研修部一同

終